

平成 21 年 3 月 6 日

武庫川流域委員会  
委員長 松本 誠様

武庫川流域委員会  
委員 伊藤益義

武庫川流域の貴重生物の保全について

武庫川流域での貴重生物は県の「川の環境調査」で調査が行われておりますが、昨年のヒメウラジロ（兵庫県レッドデータブック A ランク）の危機はかろうじて回避されましたが、このたび、同 B ランクのヨコグラノキが樹名板を付けていたにもかかわらず、別紙のように伐採されました。

このようなことが二度と起こらないような対策を立てる必要がありますので、検討をお願いいたします。

【対策私案】

1. 武庫川周辺での工事、保全作業等の際に発注者は宝塚土木事務所に届け出て、土木事務所と協議のうえ、万全の保全を図りつつ工事または作業を行う。  
関西電力、大阪ガスは事前に届けるよう掲示をしている。
2. 宝塚土木事務所は「川の環境調査」に基づいて状況確認をするとともに、現場を熟知している関係市民団体にも確認を求める。

以上

2月25日現地調査に行ってきましたので、ご報告します。

①右岸神水水管橋下流 RDB Bランクのヨコグラノキが地上1.5mで2本伐採されています。径はたばこの箱から見ると4cmと5cmとされます。左側の主幹は残っています。樹名板がつけてあります。(RDB Bランク表示もあり)



②左岸神水水管橋上流、同じくヨコグラノキが切口および切り傷から見て刈り払い機で伐採されていました。

